

+++++
◇Global Young Academyより、科学者・研究者の社会貢献評価に関するアンケート
へのご協力をお願い

◇日本学術会議共催シンポジウム「大学とグローバル化：社会科学における大学の
「国際化」を考える」（ご案内）
+++++

■
Global Young Academyより、科学者・研究者の社会貢献評価に関するアンケートへ
のご協力をお願い

■
若手研究者の国際的組織であるGlobal Young Academyでは、科学者・研究者の社会
貢献評価に関するワーキンググループを設置し、British Columbia大学と共同で、
以下のWebサイト上にて、上述テーマに関する研究調査を目的とするアンケートを
行なっております。

博士号を持つ大学・企業・研究所等の教職員および役員向け回答ページ
<http://krs.bz/scj/c?c=216&m=22959&v=6b5ff8bf>

学生およびポストドクター研究員向け回答ページ
<http://krs.bz/scj/c?c=217&m=22959&v=ced468b1>

Global Young Academyに関しては、以下をご参照ください。

公式Webサイト
<http://krs.bz/scj/c?c=218&m=22959&v=2c8f07ae>

Science誌編集長による紹介記事
<http://krs.bz/scj/c?c=219&m=22959&v=890497a0>

個人単位だけでなく、学科や部署など組織単位でのご参加も歓迎いたします。
ご協力いただける可能性がある場合は、是非とも以下の問合せ先にご連絡ください。

締め切りは回答状況によるため、お早めにご回答いただければ幸いです。ご協力の
ほどをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本件に関する日本国内の問合せ先：
日本学術会議 若手アカデミー 幹事団
ec@youngacademy-japan.org

■
日本学術会議共催シンポジウム「大学とグローバル化：社会科学における大学の
「国際化」を考える」の開催について（ご案内）
■

- ・日時 平成27年5月31日（日）13:00～15:15
- ・場所 成城大学3号館
- ・共催 日本学術会議（第一部国際協力分科会）、国際社会科学団体連盟（OFSSO）、
成城大学
- ・後援 成城大学グローバル研究センター
- ・開催趣旨 グローバル化があらゆる領域に影響を与える時代となった。大学もま
た例外ではない。一部で新自由主義的な大学の再編が進み、かつ日本の大学では、
「上からの」ナショナリスティックな指示も目立つようになった。さらに、日本で
は少子化に伴う大学生数の減少から、留学生に活路を見出そうとする動きも顕著で
ある。このような現状において、とりわけ社会科学を中心とする文科系の大学は
今後どのような道を思い描いていくことができるのか。いま大学に突き付けられて
いる課題に、大学自身はどのように対応していこうとするのか。そして、大学がな
すべきことは何なのか…。

こうした問いに対して、欧米の大学教育の知見、および日本よりも一足先に国際化を進めている韓国の現状を、日本の現状と比較しつつ検討しながら、大学の未来像を参加者とともに考えていきたい。これが本シンポジウムの狙いである。

・次 第

総司会 西原和久（日本学術会議連携会員、成城大学教授、名古屋大学名誉教授）

13:00-13:05 趣旨説明

13:05-13:10 開会の挨拶

広渡清吾（日本学術会議前会長、日本学術会議連携会員、専修大学教授、東京大学名誉教授）

13:10-13:40 山口博史（都留文科大学准教授）

「誰が日本を選ぶのかーグローバル化する世界における日本の社会科学と国際学生交流」

13:40-14:10 金益基（韓国・東国大学）

「韓国における学術交流の国際化」

14:10-14:40 矢澤修次郎（日本学術会議連携会員、成城大学名誉教授、一橋大学名誉教授）

「公共財の知の空間としての大学ー学術資本主義の諸問題」

14:40-14:50 王向華（中国・香港大学）「コメント」

14:50-15:15 ディスカッション

（事前申し込み不要：参加自由：参加費無料）

・定員 200名

・使用言語は、日本語+英語（プレゼンターが英語と日本語の両方を使って報告）

・なお、このシンポジウムは、成城大学にて2015年5月29日～31日に開催のIFSS0（国際社会科学団体連盟）の第22回大会のなかで行われます。このIFSS0大会全体のテーマは「グローバル化：多文化社会の創造に向けた社会デザインへの社会科学のアプローチ」です。以下の大会のHPでプログラム・会場アクセス等を見ることができます。

<http://krs.bz/scj/c?c=220&m=22959&v=f2d379e1>

・問合せ先

IFSS0東京大会組織委員会事務局

157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 成城大学3号館 西原研究室気付

Email: ifsso2015tokyo@gmail.com

★-----☆
日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから
<http://krs.bz/scj/c?c=221&m=22959&v=5758e9ef>

☆-----★

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから
<http://krs.bz/scj/c?c=222&m=22959&v=62b55fbc>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=223&m=22959&v=c73ecfb2>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34